

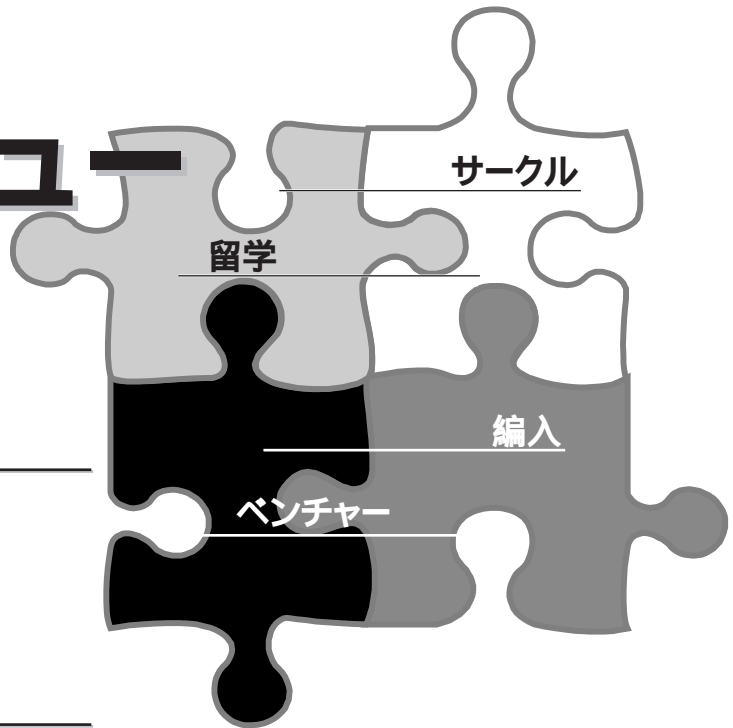
学生 インタビュー

18年度生 諸富通晴さん

17年度生 佐藤 霞さん

16年度生 山田裕子さん

15年度生 馬場淳平さん



大学生活
楽しいです。思ったよりも遊びが多いかな(笑)。勉強やスポーツなど、充実させていきたいと思っています。何でも自分からやっつけていかなきゃダメやねえ、みたい

総科を選んだ理由
もともとは理系だけど、文系に強い理系になりたかったんです。特に英語に関心があつて、広大はいろいろな制度があつて留学もしやすいさうだったので。「目標」があるならば、総合科学部は、将来をあまり限定されないで、人間的に大きくなれるいい学部だと思います。

総科フットサルサークルを創設

ふつと もんきー
Foot Monkey キャプテン

18年度生

諸富 通晴さん

サークル
自分でサークルを作りたいというのは、入学したときから決めていました。いろいろな人と出会う場がほしかったことや、フットサルそのものを楽しみたかったのが理由です。今までは、副キャプテン的なキャラクターだったので、大学ではもっとリーダーシップをとれるようになりたいという気持ちもありました。フットサルの経験はないけれど、サッカーを小学

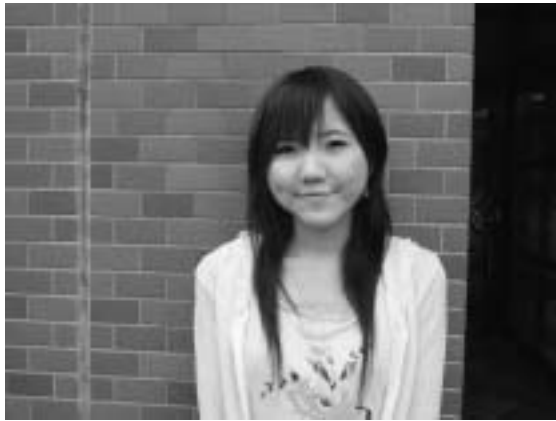
な感じですね。
積極性を維持していくのは難しい事だけど、いつでもポジティブにいたいです。





校1年から高校3年までやっていました。駆け引きの面白さや、達成感が魅力ですね。フットサルなら、コートが小さいので初心者でもたくさんボールに触れることができます。Foot Monkey^{ふっと もんきー}は、男女一緒に楽しみながらみんなの技術の向上をめざしています。チームをまとめたり、練習場所を確保したりと大変なこともあります。メンバーそれぞれが上達することや試合に勝てるようになることを目標に、楽しんでいきたいと思えます。ボールは友達！（笑）

（担当 18生 佐師 智郁子）



高校3年間の オーストラリア留学

17年度生

佐藤 霞さん

留学のきっかけ

もちろん英語力をつけたかったんですけど、一番は好奇心で、冒険がしてみたかったんです。あと、広い世界を見てみたいって気持ちがありました。オーストラリアにしたのは、他の国よりも治安が良く、物価が安いからです。

留学生活

向こうの国では、何事も自分から求めないと何もしてもらえないから、自分から要求する力がつきました。それによって、考え方が感情表現も変わりました。ホームステイは問題があり、家を何回も替わり、辛いこともありましたが、その分、日本に帰ってきてから、家族の大切さがよくわかりました。学校が一番楽しくて、合唱団に入り、3年生の時はリーダーもやらせてもらいました。日本人留学生が他にいなかったため、日本人と固まるということもなく、現地の人と早くうちとけることができ、語学力も上がりました。授業は最初は全くわからなくて苦労したけど、友達が助けてくれました。3ヶ月を過ぎたら、授業がぐーんとわかるようになりました。

総科を選んだ理由

高校の時に日本で教育を受けていなかったのとでも心配でした。オーストラリアの大学に行くこともできたけど、自分は日本で教育を受けなきゃと思い、総科の帰国子女枠を受験することになりました。また、英語を追求するだけでなく広くいろいろなことをやりたかった、自分の新たな可能性を発見したかったというのも大きな理由です。

大学生活

留学先に中国人がいっぱいいで、仲良くなり、それがきっかけで今は中国語を専攻しています。今の自分にとって中国語の存在は大きく、やっぱりいいものです。これからは英語と中国語をマスターしたいです。大学はとにかく広くて、総科は、偏ってなくて、いろんな人と知り合えることがいいところなんです。広大に來なかつたら知り合えなかつた人と話すことは楽しいし、刺激にもなります。将来は、自分の経験をいかせるような仕事につきたいです。

（担当 17生 藤山 文）



編入

広島修道大学人間環境学部人間環境学科から編入学してきました。

自分のやりたいことがしたい、というのが編入した第一の理由です。そのやりたいことというのは森林の勉強です。広島修道大学は文系の大学ですが、私は理系の勉強がしたいと思ったので広大に編入しました。

森林の勉強をしようと思ったはつきりしたきつかけのようなものはないんですが、以前から、今世間で騒がれている地球環境問題を解決したいという気持ちがあったので、私は自然が好きだったことも

今年総合科学部に編入

チャレンジさせてもらえる環境、
自分を試す機会を大事にしていきたい

16年度生

山田 裕子さん

あり、森林からアプローチしたいと考えるようになりました。本を読むなど少しずつ森林について知るにつれて、森林の大切さや魅力に惹かれていきましたね。

編入するに当たっては、前の大学での勉強と編入学試験の勉強を両立することが大変でした。編入はメジャーではないので、やりにくい面が多々ありました。例えば編入学試験の際、事務的な面でわかりにくい面があったり、試験勉強の対策がとりにくかったり。入学した後は、一般的に考えられることだと思うんですけど、人間関係であるとか、授業の数が多いこ

とがやはり大変でした。編入生としてのというのは難しい立場にありません。それはすごく実感しています。新しい人間関係という面では、人見知りするタイプなので慣れるのが大変でしたが、今では友達はその間に増えましたね。同じ学年の友達だけでなく、4年生や院生の先輩とも友達になり、話をしたり遊びに行ったりしています。みんなそれぞれが物事に対して真剣に取り組んでいて、かつ熱意を持っているので、自分自身かなり刺激を受け、勉強に関することやこれからの将来のことなど色々な面で考えを巡らせることができ、勉強になります。ここまで頑張れたのは周りの友人、家族のお陰だと思えます。色々な人に支えられているとつくづく実感しています。

総科

みんな仲が良いっていうのが第一印象でした。男女関係なくあだ名で呼び合ったりとか。オリキャンや学部で何かに取り組むという

行事が多いからだと思うんですけど、前の大学ではそういうのがなかったので少し驚きました。また、周りの人たちは物事に対して自分の意見をはっきり持っていて、授業やサークルなどに一生懸命取り組んでいる姿を見ると、自分も頑張らないといけないなと思います。

総科の授業は幅広く浅いと感ずることもありますが、一つの物事を多面的に捉えることが出来るので、その点は良いと思いました。

自分の力がどれぐらいあるのか、これからどれだけやっていけるのかっていうのは全然わからないうんですけど、チャレンジさせてもらえる環境にいるから、その可能性は大事にしていきたいと思っています。特別な資格を取るのではなく、自分がやるうと思えばどこの大学でもある程度のことではできると思うんですよ。だから前の大学でも、4年間通って自分の学びたいことが出来ないことはなかったかもしれない。そっちの方が自分としては楽にできたと思うんですよ。でも、広大に来ることが出来て、自分を試す機会を与えてもらったので、その機会を生かしていきたいと思っています。

これから

アイデックでの水質浄化を目的としたダムに関するプロジェクトに参加するなど、実際色々な活動はしているんですが、編入前とは大きく環境が変化したので、ひとつひとつのことをまだ自分の中で処理し切れていない部分があるんです。また、自分の本当にやりたいことを今、見直す時期というかチャンスだと思っています。本当に興味があるのかどうか、あるいはどこを突き詰めるのか、それを確かめているところなんです。インターンシップやいろいろな活動への参加を通してそれを見極めていきたいと思っています。

これからの目標は、まずは一歩着実にこなしていくことだと考えています。目の前のことから、例えばテストに向けての勉強やアイデックでの活動をしっかりやっていきたいと思っています。そういったことを積み重ねていって、後に成長したと思えるように努力していきたいです。

(担当 17生 石谷 絢)



ベンチャーに挑戦中！

15年度生

馬場 淳平さん

広大に来た理由

広大に来る前は、化粧品の開発をしたかったので東京都立大学工学部に入学し、応用化学を専攻していました。また同時にメイクの専門学校に行っていましたね。もともと脳科学にも興味があって、あるとき真剣にそっちの道に進もうと思っ広大を受験しました。

ベンチャーに関しては、美容室起業プロジェクトを立ち上げ、未来型美容室を起業することを目指し活動しています。その一貫で、ひろしまベンチャー育成基金のビジネスプランコンクールに応募し、金賞をいただきました。現在は卒業研究を行いながらですが、広島市内にある美容室のウイスタリアフィールド(6店舗)の経営コンサルタントを行っています。

ベンチャー

ベンチャービジネス論の授業を受けて、ビジネスプランを出したことが、そもそもものきっかけです。それから先生にもっと詳しく書いてみないかと言われ、企画書を書き始めました。そして活動をしていくにつれ、はまっていきましたね。今まで4年間理系にいた人間が今では、日本経済新聞と日経流

通新聞を欠かさず読んでいますよ(笑)。

総科

実際、総科に来て、自由!?ゆるい?総科はどっちの言葉も当てはまる気がします。まあそれがいいところなんですけど。履修に関しては、もつとプログラムや学部の壁をなくして自分の興味がある授業を積極的にとれるようにした方がいいと思います。やはり自分に興味のないことをやっても、後に何も残らないですしね。

ベンチャーしたい人に一言

自分にしかできないこと、自分だったらできることを見つけたら今すぐA4一枚にまとめること！これができたら起業できます！

あとは起業家にとって人脈は最大の武器です！いろいろな人に会うことです！

(担当 17生 藤山 文)